

A～Eにあてはまる文字を続けて読むと一つの言葉になります。
わかった方は「答え」と氏名、学籍番号、学年、専攻、「Museでおもしろかった記事」「Museで読みたい記事」を書いてmuse@daion.ac.jpまでメールを送ってください。正解者の中から20名様に大音オリジナルの五線ノートを差し上げます。締め切りは7/20(金)です。(応募は在学生に限りです)

ヒントは
「音楽家に
欠かせないもの」
だよ!

1		2	3		4
				A	
5					
	B		D		
7	8			E	
	9	10		11	
12					
答え					
	A	B	C	D	E

02 特集

ピアノの魔法
～スペシャル対談～
仲道 郁代特任教授・
岡原 慎也教授

04 音楽と生きる

大河内 雅子さん
西川 信次さん

たてのカギ

- 校歌の2番の最初は「浪華の城の——の」
- スケールのように基本になる練習を略して言う?
- 大音の創立者を名前・名字の順で
- 学長の飲むコーヒーはブラック?
- 音楽がさかんな国「ラトビア」の首都
- ワルツは円舞曲、ラブソディは狂詩曲、ではエレジーは?

よこのカギ

- 2本の竹を打ち鳴らす楽器。——節は富山の民謡
- 者が音楽をまとめます
- 大音生憧れの舞台はザ・——
- オペラハウス
- useを読めば楽しくなる大音生活。この文字は?
- 最後に出演する人
- 相手と自分
- 大阪音楽大学の同窓会の名称は?

応募はこちら!



CONTENTS

08 新任専任教員
紹介
法人役員一覧

09 大音生リアル
練習時間編

10 NEWS Index
・オープン
キャンパス 他

13 キラリ★輝く
大音の星
・コンクール
受賞
・NEWリリース

14 CAMPUS
Information

15 演奏会
Information
6月～10月

16 ・下手の考え
休むに似たり
～学長日記～
・教員リレーエッセイ
藤井 快哉(ピアノ・助教)

ピアノの魔法



なんのためにピアノを弾くのか——
常に考えながら音楽と向き合ってほしい
そんな思いで演奏家として、
教育者として活躍するお二人。
大音生へのメッセージとともに、
ピアノや音楽について語っていただきました。

音楽の素晴らしさを 社会に訴える力を持つて

岡原 仲道先生は東京を拠点として活動しながら大阪でも教えていらつしやいます。関西はほかの地域と比べて特徴がありますか？

仲道 うまく文化のミックスができる土地柄なのだということを感じますね。例えば食べ物にしても日本的なものと西洋的なものをアレンジして独自のものを作っていました。岡原先生もともと関西ではないですね？

岡原 そう。だから関西人の「自由な発想」とか「自分で道を切り開いていく能力」は非常に高いと思う。

仲道 ただ、近頃は世の中に余裕がなくなってきた、関西人独特の「ノリ」を許してくれない状況になっている。特に音楽を取り巻く環境には厳しいものがあります。例えばオーケストラは予算がどんどんカットされて非常に苦しい状況

況になっていますよね。以前のように「私弾く人、あなた聴く人」という構図は成り立たなくなっているわけです。

岡原 僕らが子どもの頃は「いい高校へ行つていい大学に入っていい会社就職して一生いい生活できる」みたいな、そういうエリートコースの雛形みたいなものがあつた。ピアノの世界でも、小さい頃からピアノだけを頑張つてコンクールに入賞して、ピアニストとして成功するんだ、というようなそういうストーリーは、今は通用しなくなつてきている。

仲道 音楽家は本来、皆「音楽は社会で共有する」とも素晴らしいもの」という意識を持つていっているわけですね。だからこそ、それをどう社会に訴えていけばいいのか。その方法論を開拓していかなければならない。それを担つていかなければならないのが若い学生たちだと思ふ。そういう気持ちで「大学を利用する」くらいの気概を持つて学生生活を送つていただきたいと思います。

想像以上に素晴らしい 音楽の効用

岡原 仲道先生はコンサート中にトークやお芝居を入れたりされていますよね。

仲道 音楽に入り込むきっかけは人それぞれだと思ふんです。「クラシック音楽は自分にあまり関係がない」と思っている人に対して「これは素晴らしいものなんだから聴きなさい」と言つたところで本当に音楽の喜びを感じていただけるのかなという。それがトークとかお芝居

なんのために ピアノを弾くのか 常に自分に 問いかけること

岡原 学生たちにいつも問いかけるのは「なんのためにピアノをやっているの？」ということ

と。きちんと答えられる人は意外に少ない。ほとんどの人は子どもの頃からお稽古事としてピアノを弾いているけれど、いつまでもその延長線上にいるからピアノが楽しくないわけです。

仲道 そうですね。常に「なんのためにピアノを弾くのか」と自分に問いかけることが大切。自分の人生において、社会の中において、音楽をすることの意味を探してほしいと思います。

岡原 僕自身は高校生の頃に「ピアノを弾く意味」みたいなものを見つけたらと思う。それまでも一生懸命やってきたけれど、どこかの時点で「自分の魂の発露」としてのピアノに変わった。「なんのためにピアノを弾くのか」が分からないまま続けても楽しくもないし満足感がないでしょう。

仲道 これは一生かかって探すものだと思う。それを手助けするのが私たちの使命。もがきながら苦勞するかもしれないけれど、これから大阪音楽大学の卒業生たちが社会で多様な活躍をして、音楽で日本を榮えさせてもらいたい。大きな話になつてしまふけれど、文化にはそれくらい力があると信じているし、大きな期待を持っています。

岡原 楽しみです。



©Kiyotaka Saito

特任教授

仲道 郁代

PROFILE ● 桐朋学園大学1年在学中に第51回日本音楽コンクール第1位を受賞。国内外での受賞を経て87年ヨーロッパと日本で本格的にデビュー。温かい音色と叙情性、卓越した音楽性が高く評価され、人気、実力ともに日本を代表するピアニストとして注目を集めている。

近年は「モーツァルト ピアノ・ソナタ全曲演奏会」などを行い評価を得ている。レコーディングはソニー・ミュージックジャパンインターナショナルと専属契約を結び多数のCDをリリース。

<http://www.ikuyo-nakamichi.com>

オーディション
に挑戦しよう

特任教授による レッスンが受けられるチャンス

今年度入学生よりピアノ専攻の学生全員に特任教授（仲道郁代、有森博、クラウド・オ・ジョゼ・リスボア・ソアレス）によるレッスンを受けられるチャンスを設けました。

受講資格は各年度の新入生のみで、特任教授によるオーディションで選抜。年間30回のレッスンのうち10回を特任教授が行います。

教授

岡原 慎也

PROFILE ● 全日本学生音楽コンクール中学生の部全国第1位。東京芸術大学音楽学部付属高校を経て東京芸術大学に入学、在学中より演奏活動を始める。卒業後ドイツに留学。ベルリン芸術大学、ミュンヘン音楽大学マスタークラスにおいて研鑽を積む。ソリスト、歌曲のパートナー、室内楽奏者として幅広く活動。また、06年チェコにて指揮者としてデビュー。93年京都音楽賞、96年大阪文化祭賞本賞、01年音楽クリティッククラブ賞受賞。11年文化庁芸術祭優秀賞受賞。

<http://web.mac.com/winterreise/iWeb/Site/Top.html>

音楽の素晴らしさ
を感じながら、た
くさんのことを学
んでください！



友人のひと言で
決まった人生!?

「声優を目指してみたら?」
大音生時代、友人に言われたそのひと言が、今のお仕事を決めるきっかけになりました。特にアニメに詳しいわけでもなかった私にとっては未知の職業です。でもなぜか「やってみたい!」と思いました。どうしてそう思ったのかは分かりませんが、何かしら魅力を感じたのだと思います。それからもうその道に向かってまっしぐら。今では「声で表現するお仕事」にすっかりハマっています。
「声優」というお仕事は声を使うことはもちろん、役柄によってアクセントや言葉のニュアンスを変化させる、また音程やテンポ感の正確さが求められるなど、音楽に似てい

現場ではいつも臨機応変に対応 「声で表現するお仕事」は 毎日が刺激的です

るところが非常に多くあります。また、ナレーション等の場合、スタジオなどの現場に行って初めて台本を渡されることも少なくありません。事前に台本をもらって、自分でキャラクターを想定して、練習を重ねてから本番に臨んだとしても「違う!」と言われたらその場でどんどん変えていかなくてはなりません。自分の中にたくさんさんの引き出しを用意しておいて、現場では、演出や相手役に応じて臨機応変に対応して

いくことが求められます。とにかく刺激的なお仕事です。

楽しかった学生生活 でも進路には悩みました

中学・高校の頃は宝塚歌劇に憧れてバレエや歌を習っていました。とにかく舞台が好きで舞台に立って演技をしたいと思っていましたので、将来の目標は「歌って踊れる舞台女優」。ただ、母親がピアノを弾くので、



自然とクラシックの世界に進むことになり大音を受験しました。

入学後はレッスンにも授業にも真面目に取り組んでいましたね。学生オペラに出演したり、オペラ研究部にも所属してオペラ漬けの日々。教職課程も履修していたので、とにかく忙しかったです。でも、同じ音楽を勉強する仲間が周りにたくさんいるので、みんなが高めあいながら本当に楽しい学生時代を送りました。あまりに楽しすぎて「私将来どうしよう?」と4年生になってからはたと気づいてしまつて。それほど楽しく無我夢中で音楽に没頭する毎日を送っていたために、卒業後の進路を考え始めるのが遅

れたという感じでした。それでも母校の中学・高校から非常勤講師の採用試験を受けないかと声を掛けていただいたりもしたのですが、試験には落ちてしまいました。

「あなたに向いている」 後になって心に響いた 先生の言葉

声優を目指し始めてからは一直線。東京に出て養成所に通いました。考えてみれば小さい頃から学校で教科書を読まされると「上手だね」と言われていましたので、声のお仕事をする可能性の片鱗はあったのかもしれない

大河内 雅子

声優・ナレーター・歌手



●おこうち まさこ
大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒。青二プロダクションを経て現在フリーランス。代表作に『ぐるみん』/パリン(主役)、『空の軌跡』シリーズ アネラス・エルフィード等。2012年発売予定『魔女と百騎兵』OPテーマ歌唱担当。



▶トークショーに
出演中の大河内
さん

◀歌手としてコン
サートも行っ
ている



音楽は人生の一部 仕事を通じてこの世界に接して ゆけるのはかなり幸せです

「音楽のすばらしさ」を 伝えたい

あなたにとって、音楽とは。
「自分の人生にとって、なくてはならない存在。演奏も、聴くことも、プレーヤーと接することも含めて、もう人生の一部みたいな感じですね。音楽と関係のない仕事に就くことを考えた時期もありましたが、今は端っこかもしれないけど、この仕事を通じて接してゆける。かなり幸せかな、と思っています」
大勢の観光客で賑わうユニバーサ

ルスタジオジャパンにほど近い、ビル10階にあるヤマハの西日本営業所。西川信次さんは、このオフィスを拠点に、管弦打楽器営業部の「普及プロデューサー」として、多忙な毎日を送っています。

西日本全域をエリアに、ヤマハ管楽器特約店を通じ、インストラクターを派遣しての小中学校や高校でのバンド指導や、小学校低学年を対象としたリコーダーなどの指導。そして、教師を対象に、授業での効果的な楽器利用を提案する講習。あるいは、かつて楽器をやっていたものの、

現在は演奏していない、休眠層を呼び戻すための働きかけ。その仕事は、実に多彩です。

「楽器メーカーの中でも、これほどの規模で普及活動をしているのは、ヤマハだけだと自負しています。もちろん、最終的には楽器が売れてくれないと、給料も出ないのですが（笑）、売るだけではだめです。まず、音楽のすばらしさを伝えたい。そして、『良い楽器がほしい』と思うほど、音楽を好きになってもらうにはどうしたらいいか、日々考えています」

大学で頑張り切ったことが 僕のベースです

「原点は、中学のプラスバンドの3年間」と言う西川さん。『地区大会で代表になった』『県大会で金賞を受賞した!!』……という中で、音楽にどんなのめり込んで……今も変わらない気持ちのままですね（笑）。ごく自然に、プロ奏者を目指すようになります。指導に来たプロの先生の演奏や話を聴くうち、『もっと自分を高めて、プロを目指したい』と思うようになりました。高校時代は、音大受験にターゲットを絞った3年間に。あえて高校の吹奏楽部には所属せず、個人レッスンに通う一方、社会人バンドで腕を磨きました。大阪音楽大学を選ぶことに「迷いはなかった」と西川さん。トランペットの師で大阪フィル奏者だった故加藤隆功さんが教鞭を執っていたことが、大きな理由でした。

そして、「よく練習した」と振り返る大学時代。今の活動も含めて、自分の土台を作ってくれた場所。大学まで頑張り切ったことがベースとなり、今も頑張っているんだと思います。そんな大学生活の中で、「JPOオペラの復活に携ったのが何よりの思い出」と言います。「計画の中心だった友人が、声を掛けてくれました。それで、私がオケを取りまとめる形に……。声楽とオー

管楽器の世界を広げ 演奏家を支えていきたい

ケストラ、裏方が一体となり、実現した『カヴァレリア・アルスティカーナ』。『募金活動まで全部、自分たちでやり、面白かった。』学生の自主活動によるオペラ」と、大学が誇らしく紹介しているのを見た時は、本当にうれしかったですね」

卒業後はフリーランスの奏者として活動し、プロ・オーケストラのオーディションに挑戦する毎日。一方で、インストラクターとして吹奏楽の指導も手掛け、やがてこの仕事に面白さを感じ、傾倒するようになります。そんな西川さんに「ヤマハの普及プロデューサーとして働かないか」と声がかかったのは、7年前の春のことでした。

「現場での指導や演奏という、楽しんでできた部分を諦めなければならない一方、自分の知識や人脈が生かせ、思いを酌んでくれる仕事。大きく一歩を踏み出す価値があると感じました。迷いはなく、むしろ良いタイミングでした。」さばさばとした表情が、爽やかです。

「プロのオケに入るという目標は叶わなかった訳ですが今は、夢を叶えた人や、夢に向かって頑張っている人たちに全力で応援したい」と話す西川さん。仕事が多忙なため、レギュラーの音楽

西川 信次

ヤマハ株式会社勤務



活動は困難と言いますが、ホルン奏者の奥様と共に、幼稚園や施設などでボランティアのステージを続けています。

それでは、今の夢は何でしょう。

「ヤマハの仕事を通じてもっと多くの人に関わりたい。そしてプロ、アマチュア問わず様々な音楽の世界を広げてゆきたい。そのためには、大きなことも、小さなことも、きっちりやっていくかと思っています。すべてが、今やっていることの延長線上にありますね。柔らかな笑顔は、確かな充実感に裏打ちされていました。

インタビュー文 笹田 和人（音楽ライター）

西川さんが企画するイベント情報

1日限りの吹奏楽の祭典です。たくさんの方で「みんなで楽しむプラスの一日」を過ごしましょう！
●日 時:2012年10月13日(土)
●場 所:梅田スカイビルステラホール
●ゲスト:キダ・タロー
●一 般:3000円(税込)／おひとり
家族割引:2500円(税込)／おひとり
(ご家族2名様以上の申し込みが必要です)
※詳しくは「プラスジャンボリー 2012 in 大阪」のHPをご覧ください。

●にしかわ しんじ
1993年大阪音楽大学器楽学科管楽器専攻卒。尼崎市立日新中学校吹奏楽部でトランペットに出会う。故加藤隆功氏、松原健二氏、ダニエル・ドワイヨ氏に師事。ヤマハ新人演奏会、尼崎市新人演奏会に出演。現在ヤマハ株式会社管弦打学校営業部西日本営業所勤務。



◀『プラスジャンボリー』というイベントにてインタビュー中の西川さん

▶トランペットひとすじだった学生時代





朝イチでまず練習室の予約

朝、8時前に大学到着。やっぱり朝は眠い！まずはF号館練習室を予約。これは午後の分。



さっそく朝の練習を開始

P号館で練習室を予約。今から授業前の9時30分まで練習します。今日は何を弾こうかな？



午後の練習にも気合が入る

朝に予約したF号館練習室にて午後の練習開始。このあとレッスンがあるので気合いが入る！



くつろぎのランチタイム

友人と「ばうぜ」で昼食をとる。今日はカレーライスを食べました。ホッとくつろぐひととき。



今日は緊張のレッスン日

信頼する植田定和先生のレッスン。基礎をしっかりと見ていただいています。



演奏するために調べます

図書館にて。今日は作曲家について調べておこうと立ち寄りました。



練習終了。帰宅します

今日はレッスンだったのでいつもより早く切り上げます。お疲れさまでした！



復習も欠かせません

さらにF号館を予約して練習。レッスンで先生にアドバイスされたことをもう一度確認。

大音生リアル ②

練習時間編

大音生のライフスタイルなどありのままをご紹介します。

大音生に実技の練習は必須。忙しい毎日を送りながら朝に、授業の空き時間に、放課後にと練習時間確保に頭を悩ませている人も多いはず。そんな練習に工夫をしている一人、ピアノ専攻の長谷川さん的一天を追いかけてみました。

ナビゲーター
大3・ピアノ
まもる
長谷川 護さん

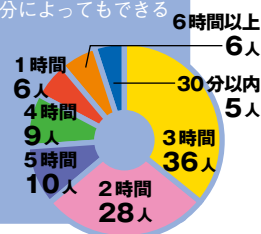


家 学が遠いのでほぼ毎日大
朝は8時から練習室が
使えるので、それに間に合うよう
に5時半には家を出ます。正直眠
くて仕方ないのですが、なんとか
頑張つて起きます。長い通学時間
は寝ていることが多いですが、本
を読んだり音楽を聴いたりもし
ます。授業が終わったあまた練習
平均すると一日5時間くらいはし
ていますね。好きな作曲家はたく
さんいるけど、特にF・リストと
かM・ラヴェルはカッコ良くて大
好きです。

大音生
100人に
聞きました！

あなたの1日の実技練習時間は？

結果を見ると2時間30分～3時間が最も多い回答でした。専攻によってかなり違いですが、声楽などは、ノドを酷使しないよう少なめ。また、「練習室がとれない」「隣の音が気になって集中できない」などの悩みもあるようです。その日の体調や気分によってもできる日とできない日があって、それをストレスに感じている人も見受けられました。朝早く大学に来て練習するなどにかく練習時間を長くとしている人、短い時間で集中して行う人など、自分にあった練習時間を工夫しているようです。



私のリアル

悩んだ時こそ
練習あるのみ！



普段は練習に授業に忙しい日々ですが、僕の気分転換はバスケットボール。実はうちの父と兄弟全員バスケをするんです。自宅の庭にバスケットゴールがあるくらいなんです。体力作りも兼ねて、たまに地元のクラブチームの練習に参加させてもらうこともあります。

ピアノの練習はしんどいと思う時もあるけど、弾けるようになってくるとやっぱり楽しい。僕の原動力は「憧れのピアニストのような演奏をしてみたい」という気持ちと「誰にも負けたくない」という強い思い。悩んだ時はその分練習時間でカバーしています。



鳥居 知行 准教授
(ピアノ)

大阪音楽大学大学院修了。ドイツミュンヘン国立音大大学院修了。86年第5回新人音楽コンクール2位、90年ヴィオッティ・ヴァルセリア国際コンクール4位、97年大阪文化賞本賞受賞。

芸術はかけがいのない大切なもの 少しでも貢献していけたら

まずは心の中に鳴っている音を表現できるように、合理的な奏法について、次に音楽の解釈の仕方についてお伝えしています。「音楽ってこんなにおもしろいものなんだ」と気づいていただければ、教員としてこれほど嬉しいことはありません。経済的にも厳しい世の中ではありますが、芸術は人生を豊かにしてくれるかけがいのないものです。後世に伝えていかなければならない大切なものだと思いますし、そのために少しでも貢献できれば幸いです。



池田 重一 准教授
(ホルン)

大阪音楽大学、ドイツアーヘン国立音楽大学卒。大阪フィルハーモニー交響楽団元メンバー、現在はアーヘン・ホルンカルテット、宮川彬良とアンサンブル・ベガのメンバー。

学生時代に得た感動は なにごとにも代えがたい経験

ドイツへの留学、オーケストラを21年、そして多数のアンサンブルを経験してきたことを生かして指導を行っています。レッスンでは例えば「音の方向」を考え、どのように吹いたらより良くなるのかなど、「表現」を重要視しています。演奏会に足を運ぶ、自分で出かけて調べるなど、なにごとにもまずは足で見つけに行くこと。学生時代に行動し、体感して得た感動はなにものにも代えがたい経験になるはずですよ。



平山 るみ 助教
(教職)

京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻博士課程認定退学。専門は「教育心理学」「教育方法論」。趣味は尺八を吹くこと。

一つの考えに固執せず いつでも OpenMind で

「クリティカル・シンキング（批判的思考）」を専門に研究しています。学生の皆さんには「考え抜く力」をぜひ養っていただきたいと考えています。「こうじゃなきゃ」とか「こうあるべき」といった一つの考えに固執せず、常に「それ以外の可能性」もあるんだということを意識して、「開かれた心（OpenMind）」を持ってほしい。そんな教育を目指します。貴重な学生時代、出会いを通してぜひ多くの経験を積んでください。

新任専任教員紹介

今年度より専任になられた教員よりメッセージをいただきました。

資格変更教員
芹澤 佳司 教授、高 昌帥 准教授
新任特任教授
土岐 英史 (ジャズ)、有森 博 (ピアノ)
クラウディオ・ソアレス (ピアノ)

法人役員一覧



理事長
中村 孝義



副理事長
本田 耕一

監事	監事	理事	理事	理事	理事	理事	常任理事	常任理事	常任理事
山下 欣男	永井 俊一	本山 秀毅	古林 清造	永井 譲	北野 徹	大川 真一郎	武藤 好男	中上 善生	十川 輝明



並河 寿美 准教授
(声楽)

大阪音楽大学大学院オペラ研究室卒。オペラ「フィガロの結婚」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「トスカ」等多数出演。東京二期会会員。

素晴らしい大学の環境を もっと積極的に利用して

非常勤講師として着任して1年。指導を通じて学生と接して感じたことは、個性の強さや自分の意見をはっきり言える人が多いということ。この特性を生かし、もっと積極的に音楽に向き合っていってほしい。貴重な学生時代、せっかくこのような素晴らしい環境の大学へ来ているのだからもっと教員や演奏会の機会を活用してください。私もこれまで演奏者として培ってきたものをできる限り伝えていきたいと改めて思っています。



山崎 都世子 助教
(教養教育〈音楽活動ポータルフォリオ〉)

TV番組制作会社を経て、映像制作を主とした「Okoku」を設立。監督作品「びおん」が「なら国際映画祭」のオープニングを飾り、イタリア・トリノ映画祭に正式招待された。

学生の個性を引き出し 進むべき道と一緒に考えたい

映画監督をしています。音楽も映像も共通しているのは「伝える」ということ。音楽を「ポートフォリオ」という形にすることによって自分のやりたいことや考え、将来像までもが見えてくることがあります。学生一人ひとりの個性を引き出し、それを積み重ねて自分を知ること。なぜ音楽を勉強しているのか、もう一度原点に立ち返ることによって自分の進む道が見つかるかもしれません。ぜひ一緒に考えましょう。

ユース合唱 フェスティバル開催

「大学のあるまち」「音楽あふれるまち」づくりに取り組む豊中市が、大阪音楽大学と小中学校などの教育機関文化芸術団体と連携して3月17日(土)豊中市立アーク文化ホールにて「ユース合唱フェスティバル」を開催しました。第一部「合唱ゼミナール」では大学の本山秀毅短大副学長



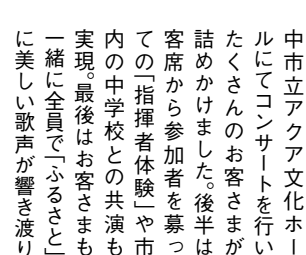
▲迫力の大合唱



▲熱のこもった本山副学長の指導

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 オーケストラの日に バラエティ豊かなコンサート

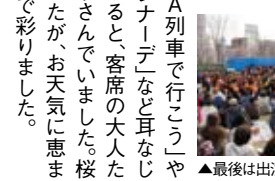
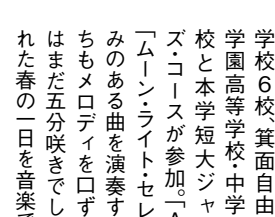
3月31日は「ミミにいちばん、ミミにいいひ!」日本中のオーケストラがそれぞれの街で楽しい演出をしました。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団は豊中市立アーク文化ホールにてコンサートを行い、たくさんのお客さまが詰めかけました。後半は客席から参加者を募っての「指揮者体験」や市内の中学校との共演も実現。最後はお客さまと一緒に全員で「ふるさと」を合唱。会場内に美しい歌声が響き渡りました。



▲最後は出演者全員での大合奏

春のひととき音楽を さくらコンサート開催

「音楽あふれるまちづくり」を目指し、本学が豊中・南ライオンズクラブと連携。最初の取り組みとなる「さくらコンサート」が4月7日(土)、庄内駅近くにある阪急電車線路沿い「さくら広場」にて開催されました。豊中市内の小学校が2校、中



▲最後は出演者全員での大合奏

片岡リサ講師 平成23年度「咲くやこの花賞」 音楽部門(箏)受賞



創造的で奨励に値する芸術文化活動を通して、大阪文化の振興に貢献し、かつ将来の大阪文化を担うべき人材個人または団体)に対し大阪府が贈呈するこの賞。この度の受賞は、オーケストラとの共演や、お箏によるベルカント唱法での弾き歌いなど、常に新しい演奏スタイルを発信し、その実力と斬新なアイデアが高く評価されました。「私でなければできない、私だからこそできる。そこを評価していただいたのかなと思います。歴代の受賞者も大音の先生や卒業生が多く、素晴らしい方々ばかり。大阪生まれ大阪育ちの私にとつて、大阪府からこのような賞をいただいたことは大変嬉しいことです。これからも好きな西洋の歌曲とお箏のコラボレーションなど、新しいことに挑戦していきたい。そしてお箏の存在を日本だけでなく世界に広めていきたいなと思っています」

小林峽介名誉教授 平成24年春の叙勲 「瑞宝中綬章」を受章



46年間の長きにわたって教育研究活動(ピアノ、ピアノ・アンサンブル、伴奏法)に力を尽くし、音楽家、音楽教育者の育成および指導を行なってきた小林峽介名誉教授。教育以外にも社会的な演奏活動を通じて音楽の啓蒙普及に努めるなど、音楽文化振興に尽力した功績を認められ、この度の受章となりました。「平日頃より皆さんに助けていただいた結果。大変感謝しております。大音



心ゆくまでじっくり体験! 7月22日(日)12時開始 真夏のオープンキャンパス

ひと足先に大音生体験ができる「真夏のオープンキャンパス」を今年も行います。コンサートや公開授業をはじめ、学生寮見学ツアーも実施。入学前にぜひ、大阪音楽大学の魅力を中心くまで体験してください。在学生による「キャンパス・コンシェルジュ」が学内をご案内いたします。詳細は大学HPをご覧ください。



▲今年も楽しい催しがいっぱい!

「ふくしまみんなの演奏会」開催決定 西本智実さんとともに 楽器を持って参加しよう!

東日本大震災をきっかけに企画が生まれ、世界で活躍する本学卒業生の西本智実さんがボランティアでの参加を宣言。8月19日(日)14時からあづま総合体育館(福島県福島市)にて「ふくしま・みんなの演奏会」が行われることに



撮影:塩澤秀樹

13年度オペラ公演 B・ブリテン「ピーター・グライムス」 オーディション参加者募集

「ピーター・グライムス」ソリストのオーディションを行います。詳細は大学HP上で発表する予定です。
●公演日:2013年10月12日(土)、14日(月祝)
指揮:高関 健/演出:中村 敬一
日程:2012年11月12日(月)
応募資格:本学卒業生、本学関係者
お問い合わせ
ザ・カレッジ・オペラハウス
(「ピーター・グライムス」オーディション係)
〒561-0855
豊中市庄内町1-1-18
電話:06-6334-12824
(コンサートセンター内)
FAX:06-6334-2164
受付時間:平日9時~17時、土曜日9時~15時
※日祝、8月の全土曜日、12月~15日は休業
<http://daion.ac.jp>

福田進一客員教授 平成23年度文化庁芸術選奨 文部科学大臣賞を受賞



30年にわたる演奏、教育活動を世界規模で続けてきたことが高く評価され、このたびの受賞となりました。
「昨秋の東京津田ホールで行ったバッハ・リサイタルでは、無伴奏チェロ組曲から従来のギター・編曲にはないさまざまな手法を盛り込み編曲・演奏しました。3番ではギターに適した新しい調性を5番ではフランス様式の装飾音を、そして6番ではオリジナルの長い旋律線を妨害しない、息の長い線表現するのに適した対旋律を模索。このような「新しいギター音楽の在り方」を探る姿勢を評価いただいたのだと思います。これから国内外での演奏活動に加え、作成中の『バッハ作品集』は還暦までに完成させたい」



Daion Report ~海外見聞録~ 学生が見た!聞いた!海外体験をお送りします。 池田 有希さん(院2・声楽)2009年度準ミス日本 夢を追う学生の力強い眼差しが 印象的だった中国の旅



▲ミス日本の仲間たちと(左端が私)

2011年10月、ミス日本の活動の一環で日中青少年交流事業として中華人民共和国を訪問いたしました。主な目的は、現地の方々との交流を通して友好関係を築くことと、東日本大震災に対する温かいご支援に対する御礼を申し上げることでした。
北京・長沙・深圳の3都市を訪問し、史跡訪問や民族文化を体験した中でも、とりわけ印象深かったのは現地の方々との交流でした。
歓迎レセプションの席では、日本と中国をつなぐ仕事をしたいと話してくださった方や、日本料理に憧れ、修行に行きたいから日本語を勉強しているという方もいらっしゃいました。短い時間ではありましたが、これから



▲深圳大学訪問時の学生による箏の演奏

入学式・卒業式のオープニングを飾るファンファーレ作品を募集中。採用されると2年間に渡って演奏されます。応募資格は全在学学生です。締め切りは9月28日(金)の17時です。詳しくは掲示板およびポータルのお知らせをご覧ください。

音楽大学への入学をお考えの方へ体験レッスンと学校説明「This is 大阪音楽大学」を各地で行っています。6月~9月には京都、広島、徳島、大阪、滋賀へ大阪音楽大学の教員・スタッフが出向します。詳しくは大学HPをご覧ください。

★ 祝！コンクール受賞 各種コンクールで受賞された皆さんの喜びの声をご紹介

第28回 現音作曲新人賞
入選および富樫賞 2011年11月24日
(東京オペラシティ リサイタルホール)松浦 伸吾
(04年院修・作曲)

直感的に「美しい」と思った表現を素直に書き記した音楽が、このような形で評価をいただき、喜びはもとより、自らの創作活動において大きな自信を得ることができたように思います。

第25回 京都芸術祭 音楽部門 京都芸術祭新人賞
12月23日(京都府立府民ホール・ALTI)

林 佑子(院2・声楽)



このような賞をいただくことができ、大変光栄です。私にとっては初めての新曲発表で不安もありましたが、作曲家の方といろいろな意見を交わしながら稽古ができたので、本番では詩の内容や音楽をうまく表現できたと思います。

立木 貴也(11年大卒・作曲)



大変嬉しく、また光栄に思っております。これを糧にこれからもより一層精進してまいります。私の作品を演奏してくださった演奏者の方々、お世話になった皆さま、この場を借りてあつく御礼申し上げます。

第25回 京都芸術祭 音楽部門優秀演奏者賞

石股 あかり(院2・ピアノ)



譜読み、音楽作り共に大変でしたが、作曲者にアドバイスをもらいながら練習しました。新曲演奏は独特の緊張感がありますが、本番は林さんと楽しんで演奏できたと思います。

松永 美穂(98年院修・ピアノ)



この度は思いがけずこのような賞をいただき、光栄に思います。私自身が大好きなアンサンブルへの思いもあり、今回その分野で評価をいただけたことを大変嬉しく思っております。

第5回 関西ピアノオーディション
専門部門 グランプリ・大阪市長賞
2012年1月15日(大正ホール)上妻 希緑
(96年大卒・ピアノ)

学生の頃のように課題に追われることがない生活の中で、自分を少し厳しい状況に置いてみようかと挑戦を決めました。仕事の合間に練習するのは楽ではなかったのですが、当日は会場の雰囲気も温かくて嬉しかったです。

第13回 日本演奏家コンクール
声楽部門一般Aの部 第1位
1月22日(みなとみらいホール 小ホール)川口 りな
(11年院修・声楽)

演奏の際にいつも心掛けていることは、頑張るのではなく、楽しむこと。自分が楽しんで演奏することができたときに、人の心に響く歌になるのだと思います。今回はそのことを身をもって感じることができました。この結果に甘えず、これからも精進します。

第14回 “万里の長城杯”国際音楽コンクール
アンサンブル部門一般の部A 第3位(1位なし)3月22日(ピッコロシアター)

桃谷 江美(04年大卒・ピアノ)



F.メンデルスゾーンの「華麗なるアレグロ」を演奏しました。独奏と掛け合いが入り交じる中、二人の音楽性を尊重しながら合わせていくことが難しかったです。これからもたくさんの方々に聴いていただけるデュオを目指します。

奥出 容子(03年短専修・ピアノ)



今回演奏した曲はF.メンデルスゾーンの難曲で、二人で合わす以前に個々の技術が必要とされる作品でした。しかし、二人とも大好きなこの曲で結果を残すことができ、嬉しく思います。これからも日々精進していきたいと思っています。

第9回 クラリネットアンサンブルコンクール
一般A部門 第1位、協賛三社賞、グランプリ
3月31日(八王子市南大沢文化会館 交流ホール)

山下 真理奈(大2・クラリネット)



初めて曲に取りかかった時は不安でしたが、練習を重ねるうちに楽しさがわかり始め、本番では楽しんで吹くことができました！それが評価につながり、大変嬉しく思います。これを糧に、頑張っていきたいと思っています！

福田 晴佳(大2・クラリネット)



初めてのデュオでのコンクールで不安もありましたが、本番では楽しんで演奏することができました。結果が発表された時は、驚きと嬉しさでいっぱいでした。私は山下さんと演奏することが大好きです！

Topics 世界で活躍する卒業生

ドイツ在住のヴァイオリニスト 日本で公演

廣田 映子(00年大卒・ヴァイオリン)



02年にドイツに渡った廣田さんはカールスルーエ音楽大学卒業。後進の指導にあたりながらカールスルーエ・バーデン州立劇場契約団員を経て、現在、カイザースラウテルン・ブファルト劇場、フィルハーモニー・メルク団員を務めています。このたび大阪でコンサートを行うことになりました。

アレクサンダー・イェルゲンス & 廣田映子 ヴァイオリンリサイタル

2012年8月9日(木)19時開演(ザ・フェニックスホール)

入 場 料:3000円(当日3500円)

出 演:廣田 映子(Vn)、アレクサンダー・イェルゲンス(夫でVn)、

野山 真希(Pf)

賛助出演:佐藤 和宏(CI)、杉中 景子(ドイツ在住Va)、平本 一誠(ドイツ在住Vc)

プログラム:C.フランク／ヴァイオリン・ソナタ、C.ドビュッシー／ヴァイオリン・ソナタ、J.ブラームス／クラリネット五重奏曲

お問い合わせ先:090-9160-9388(佐藤)

★ NEWリリース 大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜などをご紹介

大森 香奈(07年院修・打楽器)
「Je Te Veux」

発売中:2800円
ヤマハ心斎橋店、アマゾン、HCO Music ネットショップ
またはhttp://www.kana-mallets

レイルステレオ(01年大卒・作曲)
「Pop Songs Pop Things」

発売中:2100円
大手CDショップ、Amazon、楽天等ネットショップ、iTunes、Amazon、ViBirth等ダウンロード販売

清水 ちえ(02年短卒・ポピュラー)
「Breath」

発売中:3000円
全国CDショップ、各ネットショップ・清水ちえHPにて販売、またiTunes等の各データ配信販売

このアルバム「ジュ・トゥ・ヴ」は、バッハやショパンなどのクラシックの名曲をソロマリンバ用にアレンジし、収録いたしました。また名尺八奏者の三代目星田一山先生にゲストとして共演していただき、先生の素晴らしい尺八とマリンバでの「春の海」も収録させていただきました！たくさんの方々に聴いていただけたら嬉しいです。

生の時からポップミュージックが大好きで主にクラシックを学ぶ作曲学科の中では異端扱いでしたが(笑)ブラームスから明和電機に至るまで、自分がいいなと思ったものは何でも作品に取り入れてきました。今回のアルバムにもさまざまな要素が含まれていますが、どれも鼻歌で歌いたくなるようなキャッチーな楽曲になっています。

身初となるアルバム「Breath」。ピアノ・ベースにトロンボーンまたはハーモニカというアレンジや、「Lullaby of birdland」、「superstar」を含むバラエティーに富んだ選曲は、ジャズヴォーカルとしてはユニークな作品となりました。隣にいる人に届けたい……そんな一枚です。

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団

“心温まる音楽を”
被災地支援コンサート開催

公益財団法人ロームミュージックファンデーションの助成を受け、2月21～22日に石巻の中学校と大学、そして女川の小学校にて演奏させていただきました。今回お世話くださった森先生の「被災地を見てほしい」というご希望に、私たちもぜひ知りたいと思い、まだ生々しく痛々しい被災の跡が残るところをたくさんご案内いただきました。初めて自分の目で見た被災地。メンバー全員があまりの衝撃に言葉を失いました。復興に向かっていっているとはいえ長い時間が必要と実感しました。コンサートはともすればこちらの押し付けになってしまうのではないかと心配もありましたが、子どもたちの笑顔と「来てよかった」「ありがとう」という言葉で、私たちも励まされました。また機会があればこのような活動を継続していきたいと希望しています。



▲たくさんのお客さまが集まりました



▲演奏の前に被災地を見学

ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団
コンサートミストレス
赤松 由夏さん
(ヴァイオリン)

失礼します！

研究室訪問

普段はなかなか入ることのできない先生の研究室におじゃまします！

▶猫？ キツネ？ いまだにわからない「謎の動物」と「ピノキオ」がドアの小窓に



今回お訪ねしたのは……

谷口 真生子教授
(担当科目「イタリア語」「文化とオペラ」)
H号館308号室まるで歌っているようなイタリア語
魅力的だと思いませんか？

H号館はとても静かで、集中するにはもってこいの環境です。2年前から学生部長をさせていただくようになり、この研究室に居られる時間も減ってしまいましたが、朝早く出勤して授業の準備をするほか、研究のための本を読んだり論文を書いたり、と時間をみつけてはこもっています。

仕事では机やパソコンにかじりついていることが多いので、休みの日はとにかく歩きます。今住んでいる天満橋界隈は古い住宅が多く、地形もおもしろいので歩いていて飽きることがありません。軽装でふらっと出かけてしまい、気が付いたら随分遠くまで来てしまったなんてこともしょっちゅうです。

昔からイタリアに興味があったとか好きだったといった理由なく、イタリア語の教員になったと言うと珍しがられます。語学はもとも得意でしたが、大学に進学する時に「マニアック過ぎず将来役に立つ」という理由で選びました。イタリア語の魅力は「まるで歌っているよう」に聞こえる独特の発音。音楽を勉強している学生は音を聴く能力が優れているので、私の授業ではDVDなど映像と音声を多く使っています。ぜひ語学にももっと興味を持って授業に臨んでいただきたいと思います。



▲イタリアから取り寄せた本も多数。重みで傾きつつある(?)本棚

注目の演奏会や公演の様子を紹介します。 Concert Report

2012年3月4日(日)ザ・シンフォニーホール

大阪音楽大学 第43回 吹奏楽演奏会

第1部は丸谷明夫特任教授指揮のもと、A.リードやG.ホルスト、G.ヴェルディの名曲を、第2部は北野徹教授指揮のもとに2012年度全日本吹奏楽コンクール課題曲をはじめ、J.ヴァンデルローストやP.スパークの曲を演奏しました。



2012年3月8日(木)ザ・カレッジ・オペラハウス 第9回 ザ・ストリング・コンサート

上塚憲一准教授による指揮のもと行われた大学院、大学専攻科、大学、短大で弦楽器を学ぶ学生によるコンサート。B.ブリテン、O.レスピーギの弦楽合奏曲のほか、G.Ph.テレマンの協奏曲では柳浦香澄さんと茂又美貴さん(共に当時大4)がソロを、プログラム最後はG.マラー編曲によるLv.ベートーヴェンの弦楽四重奏曲で締められました。



演奏会やオペラなど、大音関連の魅力的なイベントを紹介します。

演奏会 Information

MH= ミレニアムホール OH= ザ・カレッジ・オペラハウス

●=出演者 ■=場所 ◎=入場料 ☎=問い合わせ先

大阪音楽大学主催公演

第33回ミレニアム・スチューデント・コンサート
6/18(月)・6/20(水)・6/21(木)18:00～
◎オーディションによる選抜学生 ■MH ◎無料(要整理券)

ミレニアムホール推薦コンサート
6/30(土)17:00～ ◎大阪音楽大学 卒業生による演奏会 ■MH ◎1000円

第3回ミレニアムピアノコンサート
7/5(木)17:00～ ◎ピアノ二台四手:小杉 裕一、西本 由香/ピアノ独奏:富樫 三起子
■MH ◎無料

第4回ミレニアムピアノコンサート
9/25(火)17:00～ ◎木村 直美、後藤 亜紀、小出 ひろみ ■MH ◎無料

豊中こども音楽フェスティバル 9/29(土)14:00～
◎大阪音楽大学吹奏楽団 他 ■OH ◎無料(要整理券)

創立100周年記念演奏会
ミッシェル・アリニョン クラリネットリサイタル
9/30(日)16:00～ ◎OH ◎2000円、小・中・高生1000円

ピアノ～華麗なる響きの宴宴～創立100年記念演奏会
第一夜 コンチェルトの夕べ 10/3(水)18:00～
第二夜 アンサンブルの夕べ 10/5(金)18:00～
◎第一夜 選抜学生による協奏曲演奏会/第二夜 選抜学生によるアンサンブル ■OH ◎1000円

ミレニアムホール推薦コンサート
10/6(土)17:00～
◎大阪音楽大学 卒業生による演奏会 ■MH ◎1000円

クロード・ドラングル サクソフォーン・リサイタル
10/17(水)18:00～
■MH ◎2000円、小・中・高生1000円

第49回オペラ公演 20世紀オペラ・シリーズ「イル・カンビエロ」
10/26(金)18:00～・10/28(日)14:00～
◎指揮:大勝 秀也/演出:薬園 淳/制作統括:荒田 祐子
■OH ◎一般7000円、シルバー 6000円、小・中・高生3000円

第9回ザ・ローレル・コンサート
10/30(火)18:00～ ◎2011年度大阪音楽大学音楽学部最優秀賞受賞者 ■OH ◎1000円

問い合わせ先: 大阪音楽大学コンサート・センター
TEL:06-6334-2242 <http://daion.ac.jp>

学生自主演奏会

Summer Concert
6/19(火)18:30～
◎ユーフォニアム、チューバ専攻生有志
■MH ◎無料 ☎080-3800-7128(松島)

Message
四重奏を中心とした小編成アンサンブルで、有名なオリジナル曲から編曲作品まで幅広く演奏いたします。また1、2年生のみでG.ホルスト作曲の吹奏楽のための第二組曲を演奏します。

トロンボーンJr.アンサンブルコンサート
6/28(木)18:30～
◎トロンボーン専攻1、2年生
■MH ◎無料 ☎080-1479-4159(松本)
前期ホルンJr.コンサート 7/12(木)18:30～
◎主にホルン専攻1、2年生 ■MH ◎無料
☎m3ynk.19. @ezweb.ne.jp(杉山)

Message
初めて自分たちで企画し、運営するのですが、良い演奏会にするために何度も話し合いをし、練習を重ねました。聴きに来てくださる方に楽しんでいただけるように、精一杯頑張ります。

編集後記

次号は9月14日発行予定です

「音楽の素晴らしさ」ってなんでしょう。人それぞれだと思いますが、あの「心の底からワクワクする感動」を知っている人はきっと人生トクしていると思うのです。音楽が好きだからこそ、その力を信じて社会に広めていきたい。そんな学生や卒業生や教員の願いが取材の中でひしひしと感じられる今日この頃です。(は)

Message
カルテットからオクテットまで さまざまな編成で演奏します。3、4年生の先輩も出演します。ぜひ皆さん見にきてください。

石田めぐみクラリネットリサイタル
9/12(水)18:00～
◎石田 めぐみ、伊賀 美樹子、河原 結花 ■MH
◎無料 ☎mer19un@gmail.com

Message
念願のピアノリトや演奏してみたかった曲でプログラムを組みました。来てくださったすべての方に来てよかった、また聴きたいなと思っていただける演奏をしたいと思いますので、ぜひ聴きにいらしてください!!

大阪音楽大学後援演奏会

ルカ・フランツェッティ&アンサンブル・サビーナコンサート 6/22(金)19:00～
■京都コンサートホールアンサンブルホールムラタ
◎2500円(当日3000円)
6/23(土)14:00～ ◎豊中市立アクア文化ホール
◎2000円(当日2500円)
☎06-6844-8787(イタリア生活文化交流協会)

増井一友ギターコンサートVol.7 6/27(水)19:00～
■西宮市甲東ホール ◎1000円
☎050-3497-0294(夙川ギター倶楽部)

岡原慎也・岡田将ピアノデュオコンサート 6/29(金)19:00～
◎宝塚ベガホール ◎一般3000円、学生2000円
☎090-3709-1998(ラフト・サウンド)

大阪府高次脳機能障がい支援普及事業普及啓発研修会
7/8(日)14:00～
■学校法人金剛会学園千里金剛大学佐藤記念講堂
◎無料 ☎06-6152-4770(社会福祉法人豊中きらら福祉会)

リーリ・セレーナ特別演奏会～景山伸夫・鈴木英明
兩名教授による女声のための新しい合唱曲
7/8(日)15:00～
■MH ◎1000円 ◎072-699-0035(国久)

第5回「こころの芽」コンサート 7/22(日)14:00～
◎田邊 織恵、谷口 耕平、伊藤 友祐、平松 昇平 他
■兵庫県立芸術文化センター小ホール
◎大学:一般2000円、中高生1000円、3歳～小学生500円
☎078-709-8197(オフィス・アッシュ)

フレンドシップ ガラ・コンサート2012
8/5(日)14:00～
◎安谷 万佑子、田中 郷子、水沼 文恵、西 千里 他
■茨木市市民総合センター(クリエイトセンター)センターホール ◎一般1500円、小学生以下500円
☎FAX:0797-57-0643(地球音楽隊「フレンドシップ」)

ソナタの達人ベートーヴェン 8/8(水)19:00～
◎竹内 恵美、村上ひろみ、吉田 裕文、野田 祐子
■姫路キャスパホール ◎一般1500円、高校生以下1000円 ☎079-236-0702(吉田)

アンサンブル・フロット結成5周年記念 第7回演奏会
9/15(土)17:00～ ◎日本キリスト教団浪花教会
9/16(日)17:00～ ◎日本キリスト教団洛西教会
◎新川 和孝、アンサンブル・フロット ◎1500円
☎080-1465-7630(高曲)

お知らせ

8月の全館閉鎖日について
省エネルギー・地球温暖化防止のための取り組みとして、今年度は8月5日(日)、12日(日)～15日(水)、19日(日)を全館閉鎖とします。また、8月31日(金)は職員研修・消防訓練のため、全館閉鎖とします。ご理解、ご協力をお願いいたします。

オペラ「ラダミスト」日本初演 9/30(日)15:00～
◎大森 地塩、松原 友、老田 裕子 他
■伊丹アイフォニックホール ◎一般4500円、学生3500円(当日一般5000円) ☎0797-71-0832(井上)

ドビュッシー・横へ珠玉の連弾名曲集 10/7(日)15:00～
◎小林 峡介、中村 展子、富岡 順子 他
■ザ・フェニックスホール ◎3500円(当日4000円)
☎050-5510-9645(大阪アーティスト協会)

プラス・ジャンボリー 2012 in 大阪 10/13(土)10:00受付
◎指揮:織田 浩司、ゲスト:キダ タロー
■梅田スカイビルステラホール ◎一般3000円、家族割引2500円/1人 ☎06-6465-0284(ファミリープラスジャンボリー in 大阪実行委員会 ヤマハ株式会社社管弦打学校営業部西日本営業所内)

幸楽会後援演奏会

音の泉～oto-mi～ミ・モベルボビュラーコンサート
6/24(日)14:00～ ◎阿倍野区民センター小ホール
◎ミ・モベルサクソフォンアンサンブル
◎一般3000円、高校生以下2000円
☎090-1240-9907(ミ・モベル事務局)

2本のサクソフォンとピアノによるトリオコンサート
6/29(金)19:00～ ◎古川 真也、高橋 慎太郎、藤本 さえ子
■ドルチェ・アーティスト・サロン大阪
◎一般2000円、学生1500円 ☎090-2105-1025(古川)

サマーコンサートVol.11 7/8(日)14:00～
◎太田 麻美、楠山 佳代、佐武 香里 他 ◎みつなかホール文化サロン ◎無料 ☎090-7875-9141(山本)

くまの集会Part8 7/15(日)14:00～
◎石原 栄子、廣谷 幸子、春本 佳代
◎ブチ・エル(エル・おおさか下1階) ◎一般2000円、高校生以下1500円(当日2500円/2000円)
☎090-5648-6348(春本)

絵～en 7/21(土)16:00～
◎林 まどか、関口 康祐、西田 真由子
◎ムラツリサイタルホール新大阪 ◎2000円
☎090-6328-9045

ギャラクシーオペラコンサート 7/23(月)18:30～
◎端山 梨奈、山田 愛子、小野 裕正、岩本 識、樹 貴志、瀬山 智博 ■MH ◎要入場券

音楽のおもちゃ箱クラシック&ポップスコンサート
8/12(日)14:00～
◎道旗 彰子、道旗 直樹、道旗 維子、道旗 良枝
■川西市みつなかホール1F文化サロン
◎1000円(小・中学生券500円)
☎072-794-6621(オフィス・ナウ)

アフタヌーンコンサート 8/28(火)14:00～
◎ニヤリ・みゆき、ニヤリ・ギュラ
■兵庫県立芸術文化センター小ホール
◎3000円(ペアチケット4000円)
☎0798-52-5515(ジエームアートグレイス)

第2回オワゾリール会 Inventio コンサート
～フランスからドイツに届くチェンバロの響き～
9/8(土)18:00～ ◎インヴェンツィオ ◎島之内教会
◎一般2000円、学生1500円(当日2500円/2000円)
☎072-633-7276(オワゾリール会Inventio)

B号館トイレ工事について

8月1日～30日(予定)の期間、B号館のトイレ(1、2、4階)の全面リニューアル工事を実施いたします。器具・内装はもちろん、パウダーコーナーの新設などを予定しています。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

キャリア支援センター

海外留学に興味はあるけどハードルが高いのでは？ お金のこと、語学のこと、そして大学の単位は？ そんな心配を解消してくれる窓口があります。

短期で気軽に行ける 海外提携校留学

「海外提携校留学」という制度があるのをご存知ですか？ 海外留学に興味がある方にぜひご紹介したい制度です。提携校留学には1年、半年または3カ月の短期で気軽に留学ができるというメリットがあります。休学扱いにならないので、卒業要件単位を満たしていれば大学は4年間、短大は2年間で卒業できます。提携校での学修は、審査により本学の単位として認定される可能性もあります。ただし、計画的に単位を取得する必要があるため、なるべく早い時期から準備を進めておくことが大切です。



提携校の一つ、王立ウェールズ音楽演劇大学(イギリス)

事前の語学学習得はやはり基本

提携校への留学には「海外提携校留学助成金」に申請し、本学と提携校の審査に合格する必要があります。給付型のこの助成金は、生活費や旅費に充てることができます。学校によっては寮がない場合もあるので、その場合は滞在する家をご自身で探していただくことになります。

語学に対する不安のある方も多いと思います。求められるレベルは学校によってもさまざまです。現地の方とのコミュニケーションがうまくとれないと、せっかく行っても学べるものも交流も制限されてしまいます。充実した留学生活を送っていただくためにも、事前の準備を怠ることなく取り組む必要があります。

国際交流デスクでは、留学に対する不安や悩みの相談をいつでもお受けしています。まずは、気軽にキャリア支援センター内にある国際交流デスクへお越しください。

提携校への留学について気軽に相談してくださいね!

キャリア支援センター 国際交流デスク 藤井 純子

※卒業後の海外留学、海外研修、海外コンクールについての情報提供も行っています。

ひとこと Muse

2012年度学生自治会役員が決定しました! 会長:杉山りき子 副会長:大東 夏歩、山根 若菜 会計:姜 良実、濱崎 香菜美 書記:手塚 秀夫(以上短2・Po)、小笠原 瑞希(学1・O) 広報:本田 昌洸、山田 大貴(以上短2・Po) 補佐:大飼 理恵子(学3・O)、福井 由美子(学2・書記・V)

CAMPUS

学内の各部門・施設から、学生生活に役立つ情報をお届けします。

Information

学生支援センター

レッスンや授業担当外の先生でもOK。直接相談できるシステムを活用しましょう!

「オフィスアワー」で“なんでも相談”

「海外留学の前にその国について詳しく知りたい」「音楽療法士を目指しているが、どうしたらいい?」「声楽専攻だが作曲もしてみたい」「リポート課題について悩んでいる」など、学生生活上で生じるさまざまな希望や相談ごと。そんな時に活用したいのが、教員に直接相談ができる「オフィスアワー」というシステムです。



「オフィスアワーの様子」(大前哲彦教授の研究室にて)

大学の教員はレッスンや授業以外に専門の研究や活動を行っていますので、皆さんのそんな希望や相談に対して適切なアドバイスを与えてくれるでしょう。利用される方は、学生支援センターで面談希望日の10日前までに申し込んでください。教員より直接日時についての連絡があります。実施教員・曜日等は大学HPの「キャンパスライフ」項目をご覧ください。

学生支援センター 武田 真恵

連携支援センター

連携支援センターでは、主に社会人に向けての公開講座を開催しています。

大阪音楽大学 カレッジ・オペラ講座2012 オペラ物知り講座

テーマ:「師匠から弟子へ伝えたいもの」
～師匠の活躍に続け～

あの歌い手も、あのオペラ歌手も!
名コーチ、弓子先生の弟子たち

7月24日(火)18:30～20:30(18:00開場)

場所:ミレニアムホール

受講料:1000円

構成・お話:中村 敬一

師匠:渡邊 弓子

弟子:高嶋 優羽、中川 正崇

ピアノ:関口 康祐



お申し込み・お問い合わせ

大阪音楽大学 連携支援センター TEL 06-6334-2249

<http://daion.ac.jp> ※特別講座・公開講座の項目をご覧ください。

ほっと一息 学生サロン「ぼうぜ」

九州フェア開催!

ジメジメとした梅雨の季節。心も憂鬱になりがちですが、そんな時は学生サロン「ぼうぜ」でおいしいランチでもいかがでしょう。6月下旬にはなんと「九州フェア」を開催します。九州にはおいしいものがたくさん! 行ったことがある人もない人も、ぜひ九州の味を「ぼうぜ」で味わってみてください。珍しいメニューもご用意してお待ちしております。

フェア情報

7月には「冷やし麺フェア」を実施します。また夏ごろからは「バイキングメニュー」を予定しています。お惣菜やサラダなど好きなメニューを自分で選ぶ量り売り方式。ランチの時間がますます楽しくなること間違いなし。ご期待ください!

メニュー(予定)

・チキン南蛮(宮崎)	・トルコライス(長崎)
・とり天(大分)	・佐世保バーガー(長崎)
・シシリアンライス(佐賀)	・太平燕(熊本)
・長崎ちゃんぽん(長崎)	ほかにデザートも予定しています。

▶佐世保バーガー



◀トルコライス

下手の考え休むに似たり

01

Podio Marts

文・イラスト 武藤 好男

ポテン・ヒットは狙って打てる ものではありません

学長になって、2ヵ月が過ぎました。慣れないこともあって悪戦苦闘の毎日です。そんな中、『Muse』に学長コーナーを設けてもらうことになりました(私が希望したわけではありません、念のため)。音楽に関する思い出や、2015年の100周年にちなんで、学生時代を含めると40年以上過ぎた大阪音大の変遷について書いてはどうですか、という提案を編集者からいただいたのですが、思い出なんて恥ずかしくて書けないし、歳を取ってどんどん脳細胞が死んでいっている状況からして、いろいろなことが覚束なくなっています。そこで、学長になって見えてきたことを含めて、日頃考えていることを書くことにしました。それなら将来、学長になりたいと思っている人(そんな人がいるとは思えません)の役に立つかもしれないし、何より気楽に書けます。「下手な鉄砲も数打ちゃ当たる」でポテン・ヒットという可能性もあります。では、とりあえず始めます。

イソップ寓話に「アリとキリギリス」の話(岩波文庫では

「蟻と甲虫」になっています。甲虫はたぶんスカラベのこと。日本語ではタマオシコガネ、通称フンコロガシですが、日本の子ども向けの翻案に当たってキリギリスにしたのだと思われます)がありますが、働き者のアリが将来に備えてせっせと働く姿は、ともすれば来週の予定、来年の目標達成、5年後の生活設計、死んだ後のお墓の心配……に追い立てられて生きている私たちそのものです。そしてこのサイクルに完成はなく、生きている限り続きます。芸術、例えば音楽に感動するということは、聴いているその一瞬に生きていることを実感するものだと思います。私は、アリのようではなくキリギリスのように生きたいと考える人間なので、この話にはずっと違和感を持っていました。もちろん、例え話というのは物事を分かりやすくするようにみえて、限定してしまう一面もあるわけで、勤勉の大切さはよく分かります。でも、勤勉に働くこと自体が目標になってしまったら、何のための人生でしょう。

というわけで、第1回は正直言って中身なし、次回以降も期待しないでください(誰も期待などしていないということとはよく分かっています、ハイ)。



ふじい よしき ● 1972年生まれ。大阪音楽大学卒業・同大学院修了。米・インディアナ大学でアーティストディプロマを取得。在学中にアンサンブルの魅力に目覚め、さまざまなパフォーマーとのコラボレーションを楽しんでいる。活動内容はブログにて。
<http://d.hatena.ne.jp/yoshikiplanoweb/>

演奏会の作戦会議もOK 音楽仲間とのグルメ会

ピアノ・助教 藤井 快哉

教員
リレー
エッセイ
Vol.4

学

次回は私の大切な共演者の
一人、井上麻子先生(サク
ソフーン・講師)です。カメ
ラの腕前も相当なモノ!
多才な一面を見せてくれる
のを楽しみにしています。

生の頃から気心の知れた友達との打ち上げは大好きでした。教員になってからもそれは相変わらず。自主公演の数週間前に「打ち上げはどこでやる?」と言いだして、「本番の準備もできてないのに……」と共演者に苦笑いされたこともあります。打ち上げでは成果を讀み合いスタッフをねぎらうことはもちろん、おいしいものにありつける喜びを避けることはできません。ありがたひです。お酒がさほど強くない私でもこの味が何にも勝ることだけは知っています。またそこに集う音楽家達が饒舌になり「また一緒にやるう」などと話が飛び交い、次回の本番が決まることもしばしば。そうなる、次回企画の作戦会議と称して新たな食事の席が設定されることもあり、楽しみは尽きません。

そんな中、共演機会の多い教員仲間と結成されたのが「グルメ会」。選がお店の判断基準は値段の上下に関係なく、どれだけ自分達の五感を満足させてくれるか?のみに絞られます。好きなら何度でもリピートしますし、常に新規開拓も怠りません。そして今回私

が「グルメ会」の一員として自信を持ってご紹介するお店が、阪急電鉄苦楽園口駅近くにあるイタリアン「フオンテガラー」。お店の名前は1535年、イタリアのヴェネツィア政府に仕えていた音楽家、ガナッシ・デル・フオンテゴが書いたリコーダー(縦笛)のための教則本のタイトルに由来するそうです。実は本学音楽学教員・芝池昌美先生のご主人が経営されています。どうですか、この私の完全に食意地に走っている顔! (一緒に写っているのは、同会員であるクラリネット奏者・上田浩子先生)。味はもう、こちらでお伝えしなくてもわかっているだけです。言わずもがな、人気のお店です。週末は特にご予約をお忘れなく。ところで右の写真とても素敵に撮れていると思いませんか? 実はこれ、もう一人のグルメ会の会員様が撮影してくれました。ということで、次回をお楽しみに。



おいしいものを目の前にとびきりの笑顔の二人。左はグルメ仲間・上田浩子先生(クラリネット・講師)

